

2019年度 第2回 日本建築学会関東支部埼玉支所役員会 議事録

日 時：2019年9月26日（木）18:20～19:50 埼玉建設会館 2階会議室

出 欠：■時田芳文 ■市川毅 ■樋口和男 □市川均 ■宇杉和夫 □大竹由夏 □梶芳晴 ■木下芳郎 □朽木宏
□桑田仁 □佐藤泰 □白江龍三 □徐華 ■鈴木弘樹 ■高岡敏夫 □戸田都生男 □永峰麻衣子 ■原口剛
■日色真帆 □平野隆 □古里実 □三浦清史 □水村容子 □八代克彦 □若林祥文 ■宗政由桐（敬称略）
■大槻淳一（事務局長） ■黒田智之（事務局） □隅倉陽子（経理） ■宮崎均（オブザーバー）

配布資料：2019年度第2回役員会 議事次第

宮崎均氏（新幹事）経歴書

第19回 埼玉住まい・まちづくり交流展@行田 実施報告書

2019年度 日本建築学会関東支部総会（5月8日開催）実施報告書

2020年度 建築交流展について（企画のたたき台）

1. 2020年度「埼玉住まい・まちづくり交流展」について

- ・時田支所長より、来年度の交流展を日工大・木下先生を中心に進めていきたい方針が述べられ、木下先生が現在春日部市と活動している景観まちづくりプラン作成の具体事例等の紹介が行われた。
- ・春日部市で交流展を開催することの是非を中心に議論が行われたが、出席者の多数の承認により、まずは春日部市で進めていく方向性を確認した。
- ・主な議論の流れを下記にまとめる。
 - （時田）来年度の交流展を日工大・木下先生をリーダーとして進めていきたいと考えている。
 - （木下）春日部市と日工大で景観まちづくりプランの作成活動を進めており、現在取り組んでいる事例を紹介する。
（配布資料（企画のたたき台）をもとに説明）
 - （時田）年度は6月～5月なので、GW後の開催時期については問題ない。
 - （宇杉）これまでの交流展は地域の人たちが関与するところに特徴があり、大学や学生が交流展を行うことの意味づけを考えなければならない。社会実験という、ただアイデアを出すだけでは学会としていかがなものか？
 - （時田）交流展に向けて進めていく積み重ねのプロセスが重要であり、木下先生を中心にプログラムを作成していただき、勉強会などを開いて議論していけばよいと考える。
 - （木下）社会実験は大きな街のフレーム内で行うのではなく、フレームを考えるためのツールとして考えている。
 - （時田）これまでの反省を踏まえ、今回は議論する場を重ねるような、進め方も含めて変化させていきたい。
 - （日色）現在取り組んでいる事例はなかなか面白い。歩いて過ごせる街とよく言われるが、実際に経験できる街は少ない。春日部市のスケールで行うとどう変化するのか興味があり、また、分散的な設計を行う風潮が学生にはあるので、取り掛かりやすいテーマだと思う。
 - （樋口）春日部で行うかどうか、これまでの交流展の経過を踏襲するのか否かを考える必要はある。市内に流れる3本の川が流れており、川の文化を取り上げる必要がある。ただし、春日部を題材に、埼玉の街を伝えるという意味では良い。
 - （大槻）昔から春日部の都市計画は東と西に分かれており、どう繋げるのかということがテーマになっている。これまで高架化されずに進まなかった都市計画が、高架化の決定によりどのように街づくりをしていくかという、これからドラスティックに変化する街なので、敷地としては面白い。
 - （宇杉）社会実験の概念をきちんと詰めること、歩ける街に興味があり学生も提案しやすいという話があったので、それを詰めて考えて欲しい。自由な提案にするのかフィルターをかけるのか様々な方法が考えられるが、条件を設定を行わなければ学術的なものにならない。また、ドラスティックに変化する状況で、変化しづらい状況をどのように捉えるか、また現在がどのような段階か見極める必要がある。
 - （時田）委員会を開催し、プロセスを積み上げること、打合せ内容等を支所のHPで公表することなど、開催までのプロセスを積み上げる場を設けたい。

2. その他

- ・新幹事として高岡氏より宮崎均氏（前橋工科大学教授）の推薦があり，出席者の全会一致により承認された。
 - ↳支所活動の活性化を図るためにも，今後も役員の推薦を広く募りたい。
 - ↳時田支所長の任期（3期6年）が2021年5月までであり，次の支所長選出の際には立候補していただきたい。
- ・宇杉氏を中心に，公開講座（シンポジウム）の開催を企画中である。
- ・研修視察旅行（台湾・韓国・ヴェトナム等）を企画中であり，参加していただきたい。
- ・UDC（アーバンデザインセンター）を熊谷にも設置する準備を鈴木先生を中心に進めていることが時田支所長より紹介され，鈴木先生より現状報告が行われた。
 - ↳現在県内には大宮（UDCO）と美園地区（UDCMi）に設置されており，県北のUDCとして熊谷で進めたい。
 - ↳ラグビー W 杯後の熊谷をスマートシティとして街づくりを行い，歩いて楽しい街づくりを目指している。
 - ↳埼玉支所の皆様にも参加していただき，埼玉の活性化につなげていきたい。

以上

記録：宗政由桐